



Title	1970年代のネパールの村での結核対策の試み
Author(s)	森口, 育子
Citation	目で見えるWHO. 2012, 50, p. 25-25
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86739
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



1970年代のネパールの村での結核対策の試み

日本国際保健医療学会 理事 森 口 育 子



Ikuko MORIGUTI

1971～1992年 静岡県内の保険所保健師
1986年～ 日本国際保健医療学会 理事・代議員
1992年 国立公衆衛生院専門課程修了(MPH)
聖隷クリストファー看護大学助教授就任
1996年 兵庫県立大学看護学部教授に就任
1997年 国立公衆衛生院研究課程修了(DPH)
2000年 WHO本部短期看護コンサルタント
2005～2012年 兵庫県立大学 地域ケア開発
研究所教授(国際地域看護学)

1970年代のネパールは最貧国であり、首都カトマンズでは人口の1割が結核に罹っているといわれ、結核の死亡率が高く、ネパール政府も結核対策を重視していました。私が勤務したネパール結核予防会の結核専門病院では、咯血や呼吸困難など重症になってから運び込まれる患者が多く、平均入院期間は1ヶ月半で症状が軽減するとほとんどの患者は退院していきました。入院期間中の1次薬は無料でしたが、入院費が高く長期入院は困難でした。しかし退院後に服薬中断する患者が多いことと、重症になってからでないと受診しないことから病院で患者を待つ看護に限界を感じ、村を巡回して結核対策に取り組む公衆衛生チームに移動しました。

公衆衛生チームはカトマンズ盆地のある村に出向いて、結核の知識の普及、結核患者の発見、14歳以下の子どもへのBCG接種を行います。多くの村では結核はまだ死病と恐れられており、結核に対する予防や治療方法があることの知識はほとんどありませんでした。当初は、学校を訪問してのツベルクリン反応・BCG接種をしたのですが就学児童は少なく、特に女兒は僅かで、村で可能な喀痰塗抹検査による患者発見を目指し、症状のある人への喀痰の持参を呼び掛けましたが、来所する人はほとんどありませんでした。チームが村に滞在して村長や学校の先生など村の有力者に対して結核対策の重要性を説明し、どのようにしたら子どもたち全員へのBCG接種と有症状者への喀痰検査が可能になるか相談したところ、全戸訪問をするしかないことが分かりました。

各家庭への訪問は、家族が畑に出かける前の早朝に訪問し、まず世帯主に対して結核の健康教育を行い、家

族内で2週間以上咳や痰が継続している人を確認し、有症状者がいた場合はその場で喀痰採取をして塗抹検査を行いました。また14歳以下の子どもを集めてもらいBCGの瘢痕の有無を確認して、ない場合はその場で直接BCG接種を行いました。その結果9割の子どもにBCG接種ができ、各村で数人の結核患者を発見することができました。山道を歩いて1軒1軒訪問する方法は効率的ではありませんが、1回の訪問で、結核の健康教育、子どもへのBCG接種による結核予防、喀痰塗抹検査による患者発見と総合的な結核対策ができ、遠隔地の貧しい村では効果的な方法だと思いました。

しかし、ある村では全戸訪問が終了し報告に行ったとき、村長から公衆衛生チームが去った後の結核対策について質問され、巡回チームによる活動の限界を認識しました。結核予防会では、村で継続的な結核対策が行われるためにはどうしたらよいかについて検討し、村で簡単な治療を行っているヘルスポストで結核対策が行えるモデル・ヴィレッジ作りに取り組むことにしました。当初は結核予防会から医師、検査技師、公衆衛生チームのスタッフが村に出向き、ヘルスポストのヘルスワーカーに対して喀痰塗抹検査法とBCG接種、1次薬による治療法についての研修を行いました。その後研修を受けたヘルスワーカーたちは熱心に結核対策に取り組むようになり、月に1回の事後フォローとモニタリングを行った結果、ヘルスポストで結核対策が実施できることを確信し、結核予防会ではこのモデル・ヴィレッジの活動を他村にも普及するようにしました。

ネパールでの結核対策の経験を通して、日本とネパールの健康問題と保健医療の格差を痛感するとともに、結核対策の基本は共通であるがその国・地域で受け入れられる効果的な方法(適正技術)による活動の重要性、地域に出向くことで、住民の協力を得るための活動の重要性を学びました。